

( 記入例：子の出生の場合 )

職員が所属長に提出する日

扶養親族届

学校受付印  
H20/5/15

平成 20 年 5 月 15 日提出

任命権者 高知県教育委員会 様	所属長 認印	印	所属 氏名 高知 太郎	四万十町立〇〇小学校	職名 教諭	職員番号 ●●●●●●●●
--------------------	-----------	---	-------------------	------------	----------	------------------

職員の給与に関する条例第11条第1項  
 公立学校職員の給与に関する条例第14条第1項の規定に基づき次のとおり届け出ます。  
 警察職員の給与に関する条例第11条第1項 (証明書 1 通添付)

届出の理由 <該当する□にV印を付すとともに、事実発生日を記入すること>

□1 新たに職員となった(□配偶者がない)

2 新たに扶養親族としての要件を具備するに至った者がある(□配偶者がない)

□3 扶養親族としての要件を欠くに至った者がある(子、孫及び弟妹で22歳の年度末を超えた者を除く)

□4 配偶者のない職員となった(□2に該当)

□5 配偶者を有するに至った(□2に該当)

配偶者がいない場合に、忘れず V印する

新たに扶養にする場合 「2」 V印する

届出の理由の1~3に該当する場合の記入欄

扶養親族の氏名	続柄	生年月日	同居・別居の別 (別居の場合は住所)	所得の年額		届出事実の 発生日	届出の事由
				所得の種類	金額		
高知 三郎	長男	H20. 5. 2	同居	無	0	H20. 5. 2	出生

子の生年月日

- (注) 1 「続柄」欄には、職員との続柄を(重度心身障害者として届け出る場合は、その旨を併せて)記入する。  
 2 「同居・別居の別」欄で別居の場合の住所は市区町村名まで記入する。  
 3 「所得の年額」欄には、給与所得、事業所得、不動産所得、年金所得等恒常的な所得がある場合に、これらの種類ごとにその年額(見込額)を記入する。  
 4 「届出の事由」欄には、届出の理由の2又は3に該当する場合にその事由(例えば婚姻、離婚、出生、死亡、満60歳以上等)をそれぞれ記入する。

配偶者の氏名及び勤務先<配偶者が扶養親族として認定を受けていない場合にその勤務先氏名を記入する。>

高知 花子 四万十町立△△小学校 (職員番号 ○○○○○○)

任命権者記入しない

上記のとおり認定する。

平成 年 月 日

職名 氏名 印

配偶者が同じ職種(教職員)の場合に記入

日 受 理 支 給

平成 年 月 日 まで

取扱者 認印 印 印 印 印

配偶者以外の扶養親族のうち1人の額は 増額 減額

年 月 日 から 改定